

所在地	〒533-0015 東淀川区大隅2丁目3番18号
電話番号	06-6328-6557
FAX	06-6328-6352
校長名	原 雅史
開校年度	昭和55年度



### ◆学校からのメッセージ

本校のルーツは、明治初期に創設された西成郡第4区三番小学校です。その後、乳牛牧小学校、大隅尋常小学校と名前を変え、戦後は、大隅小学校と改称されました。児童数増加で、大隅東小学校と分かれました。

**校訓** 「考える」「助け合う」「きたえる」  
**学校教育目標** 全ての子どもの学びを保障し、「生きる力」を育む教育の実践  
～一人もひとりにしない学び合い～

- めざす子ども像**
- 1) わからないときは「教えて」と訊ける子ども
  - 2) 周りの人と聞き合うことのできる、繋がれる子ども
  - 3) 努力を積み重ねることができ、まじめな子ども

今年度は、15学級（うち5学級は特別支援学級）203名の児童とともに、「ここからへん」「おしえて」が遠慮なく出し合えるような、互いを認め合う仲間づくりを基盤に学習活動を構築しつつあります。地域や保護者の方に見守られ、子どもたちはいきいきのびのび学校生活を送っています。

### ◆運営に関する計画

- 一. 安心・安全な教育環境の推進
- 二. 未来を切り拓く学力・体力の向上
- 三. 学びを支える教育環境の充実

### ◆令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果から

平均正答率については、国語科については全国の平均を5.2ポイント下回り、大阪市の平均より4.0ポイント下回った。算数科は全国の平均を9.5ポイント、大阪市の平均を9.0ポイント下回った。算数科・国語科とも全国平均を下回る結果となった。平均無解答率については、全国の国語科で4.8、算数科3.4、に対して本校児童の国語科で3.4、算数科で3.0であった。全国平均に比べて本校児童の無解答率の低さが見られ、最後まであきらめずに問題に取り組もうとする姿勢が見られる。

### ◆令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果から

男子は、握力、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ、体力合計点は全国平均を上回っている。しかし、他の種目では下回っている。また、大阪市内で重点種目として挙げられている「反復横とび、立ち幅とび」については、両種目とも全国平均を下回った。女子は、握力、20mシャトルラン、ソフトボール投げが全国平均を上回っているが、その他の種目では下回っている。特に、長座体前屈、立ち幅とびは全国平均との差が大きい。また、大阪市内で重点種目として挙げられている「反復横とび、立ち幅とび」については、両種目とも全国平均を下回った。

**※全国学力調査・学習状況調査等の結果について**  
本校は調査対象学年が単学級であるため、大阪市教育委員会の方針に基づき、平均正答率および種目別平均値の結果は公表していません。

【P.21に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

### ◆学校行事の内容

#### スポーツフェスティバル（運動会）

本校のスポーツフェスティバル（運動会）は、例年5月の終わりに実施しています。入学式を終えてすぐの1年生も、5月になったらスポーツフェスティバルに向けての練習に取り組みます。どの学年も一生懸命練習に取り組み、本番では練習の成果をしっかりと発揮しています。一段と仲間意識が高まる、学校にとってとても大切な行事です。

#### 防災訓練

町会の皆様や消防署、区役所の方々にご協力をいただき、防災訓練を実施します。講義だけでなく、はしご車や煙体験、消火活動や簡易担架作りなど、様々なことを体験します。また、大阪経済大学と連携して、予想以上の津波がくることを想定して、大阪経済大学の校舎に避難する訓練も行っています。

### ◆特色ある教育活動

令和6年度 大隅西小学校 学校教育目標

**全ての子どもの学びを保障し、生きる力を育む授業づくり**

**「全ての子ども」がともに学び合うように**

「全ての子ども」を私たちは受け止めます。学習の苦手な子ども、日本語を母語としていない子ども、障がいの有無などにも関わらず、一つ教室の中で互いに支え合いながら「学ぶことが好きな子ども」に育てていきます。

**学び合いによる、確かな「学びを保障」**

「子どもが学ぶ」ことを中心とする授業を行います。教師が教え込むよりも、世界で主流となっている子どもどうしの「学び合い」に重点を置いた授業を行い子どもの学び力を育みます。このために、教師は入念な準備を行い、よき課題の提示ときめ細やかな観察で子どもどうしを繋ぎながら、夢中になって学び合う教室をつくっていきます。

**新学習指導要領に準拠した授業づくり**

新学習指導要領は「主体的、対話的で深い学び」のある授業をつくることを指示しています。本校でも、子どもが主体的に学びに向かい、子どもどうしが課題について対話を重ね、深い学びに向かっていくような授業をつくっていきます。

**Q & A**

■Q 本当に子ども同士の学び合いで、学力がつくのですか？

□A はい。教師による講義型授業では右図のように半年後の記憶の定着は5%となっています。子ども同士が対話したり教え合ったりするアクティブラーニングな授業こそが最も学力の向上につながります。

■Q 大隅西小は児童数が少な過ぎて、競争原理が働かないのでは？

□A そうですね。ただ、学力を伸ばすには、競争よりも「協力」した方がいいことは、フィンランドの教育改革の成功例でも証明されています。大隅西小では子どもどうしの心のケア（絆）を授業の中心に置きながら学力の向上を図ります。



**校長先生からの1 POINT**

良い授業を求めて日本中をたずね歩いた私が、満を持して最高の授業を行う学校をつくりたいと考えています。「一人もひとりにしない」授業と楽しい学校行事で、生きる力、学ぶ力をいっしょに身に着けませんか！

※大隅西小学校は適正配置対象校となっておりますが、ただちに具体化するものではありません。詳しくは、東淀川区役所ホームページ「東淀川区における学校配置の適正化の取り組み」でご確認ください。